



昭和小の隣にある八幡山の木々も、秋色に染まりました。晴れている日も多く、秋空の下、校庭で元気に遊びまわる子どもたちの笑顔は見ていて嬉しいものです。

保護者の皆様と学校がよりよい関係で学びあうことにより、信頼関係が築かれていきます。子育てのパートナーとして、お子様の将来をともに支えていけるようお互いの立場を理解し合い、お子様のためによい方法をもとに考えてまいります。学校と家庭が「いっしょに」を合言葉に、よりよく連携していけたらと思います。



読めそうで読めないー！のはなし



←このチラシの文字をよくご覧下さい。

なんと読むでしょうか？外国にあるコーヒー店のチラシです。日本人だけが読めないと言われていました。

発行者である渡邊も・・・はじめは全く

読めませんでした。読めないとかなりイライラしてきます。周りに読める(できる)ひとが続々と増えてくるとなおさらイライラします(笑)。でも、ほんのちょっとした助言や工夫があれば、簡単に読めてしまうのです！実は教室でも、同じようなことが起きています。

これは日本の飲み物をイメージしたチラシのようです。「サロナエコサム」ではありません。

さあ、どうしたら読めるようになるでしょう。

【合理的配慮としての視点を】

- 太いペンで、文字を真似て大きく書いてみましょう。(わかりやすくするための手立て)
- ちょっと離れて目を細めて見てください。(わかるための工夫)
- ローマ字として認識してみてください。(ちょっとした助言を与える)



日本食は海外で大人気。日本語っぽくデザインされたローマ字なのです。だから日本人だけが読みにくいのです。もはや、

これはカタカナにしか見えません！

☆答えは・・・(一番最後にあります)

教室には、何度書いても同じ漢字がどうしても書けなかったり鏡のように反対向きで漢字を書いたりするお友達がいることがあります。

「また同じところで間違ったの？」「何度言ったらわかるの！！」「なんでこんな簡単な漢字もわからないの？」「本当にできない子だなあ。」同じことを言われ続けて、もうすっかり嫌になっている子がいたら、どうしたらいいでしょう。

【合理的配慮としての視点を】

- 少し大きめのマス目に練習する。
- 漢字をバラバラに解体して物語にしてみる。
- バラバラにしたものを楽しい歌といっしょに覚えてみる。
- 薄く印刷されたものをなぞって練習する。
- 部首とつくりを色分けしてみる。
- いっそのこと、思い切って書く量を少なくしてみると、お子さんの負担が軽減されます。
- 漢字を紙に大きく書いて、ちょっと離れたところから改めて見て観察してみる。
- 本人が落ちつく静かな環境の中で、在籍する学級の教科書の進度とほぼ同様に少人数で学習してみる(かがやきルームやそよかぜ学級等)。

ほんのちょっとした助言や工夫、その子に合わせた特別な配慮(＝合理的配慮といいます)は決して特別扱いをすることではありません。子どもたちには、それぞれの特性に合った学び方をする権

利があります。もし、その子なりの困り感に合わせた工夫のもとで、その子なりの取り組みができ、それぞれにできた喜びを感じることができることが

できたら。みんながやさしくなれる、お子さんが幸せになれる選択を、おうちの方と一緒に考えていきます。

感情が爆発した子への言葉かけ

お子さんが爆発したとき、おうちでどのような対応をとっていますか。親子で本気で喧嘩していますか。しばらく放っておきますか。それとも美味しいものや楽しいゲームで気を引きますか。

感情が爆発し、興奮している間は何を言っても聞く耳をもっていません。落ち着かせようとあれこれ話かけることも、ほとんど効果なし。当たり障りのない単調な受け答えや言葉かけでOKです。それ以上はむしろ火に油を注ぐことになりかねませんので控えます。乱暴な言葉であっても、興奮中は「ぶっ殺すなんて言ってはいけない。」などと咎める言葉かけも効果は見込めません。



「悔しかったよね」「嫌だったんだね」「よしよし」「気持ち
はよく分かったよ」「そうかそうか」「大丈夫、大丈夫」

「落ち着いたようだね。
心配／安心したよ。」「イライラ
して／悔しくて、がまんできな
かったんだね。」

例えばこんな限られた言葉で十分です。あとは、安全を確保しながら興奮が収まるのを待ちます。感情を爆発させて暴れることは、とても体力を費やし疲れるものです。中にはそのまましばらく

寝入ってしまう子もいるほどです。徐々に体の力が抜け、表情も陰しさが薄れて落ち着いてきたら、まずは子どもが「うん」と答えられるような言葉をかけます。

一般的に、ASD(自閉スペクトラム症)やその傾向があるお子さんの中には、その子に特有の感覚・認知・思考があり、パニックに至る経緯が他者からは分からないことがあります。その子の生きる世界を教
えてもらうスタンスで理解を広げていくことが、興奮やパニックの予防に繋がります。お子さんが爆発した時には、同じ土俵に立たずに客観的にみることが大切です。御参考になさってみてください。

SCM ってなあに？

SCMとは私が承っている職務です。SCM=スクールカウンセリングマネージャーの略称で、主に、外部のスクールカウンセラーの先生の来校期日の連絡調整や一日の流れの時間調整を行っています。保護者の方の相談内容等につきましては特に守秘義務があり、内情をもらすことは絶対に許されません。安心して御相談できますように秘密厳守でフォローをさせていただきます。

※冒頭の問題の答えは・・・

答え：【HOZICHA】＝【ほうじ茶】です。丸文字気味に大きく書くのがコツです。まさかのローマ字・・・先入観とはおそろしいものです。先入観や「こうあるべきだ」「こうじゃなきゃいけない」という考えを捨てて、目の前にいる子どもたちと接していきたいものです。